

同業者再建に助け舟

●●● 水産加工業社長



「こういう時こそ支え合いが必要だ」と語る新沼館務さん(左)。南三陸町の業者に加工場を貸し、共に復興への道を歩む二八戸市鮫町

「こういう時こそ支え合いが必要だ」と語る新沼館務さん(左)。南三陸町の業者に加工場を貸し、共に復興への道を歩む二八戸市鮫町
エキ吉田商店は今回の震災で、四つの工場のうち三つが流失、残る一つも水を使えず、再開のめどは全く立たない状況だった。

(文・写真、佐藤光)

いわて 東日本大震災

～被災地からのメッセージ～



家族5人の生活再び

津波でくでくこ

題字・山下丈男さん



将来は支援の仕事に

陸前高田市高田町
実吉 愛湖さん
(陸前高田・1中1年)
震災から2カ月が過ぎ、母校の高田小学校

～被災地からのメッセージ～

内陸で元気づけたい



葛巻から支援続ける

盛岡市青山
千葉和佳子さん(31)
公民館職員
大船渡市盛岡で18年
元気づけたい



47トン船飛んだ



宮古市消防団員が撮影

視界の先で重量47tの白い船が飛んだ。宮古市消防団第2分団副分団長で同市高浜十目の自営業安倍主税さん(55)は、あの日の恐怖を忘れることが出来ない。持つ場所で防潮堤の上、動画撮影した最後のシーン。「うわーっ、ここも危ない」。旅客船を引き寄せたが、黒い波にまわされた。

午後3時ごろの第1波。数秒の白波が河口を上る。その後、水が引いて来ない

波が飛ばして荒れ狂う波に驚いて逃げたが、黒い波にまわされた。

午後3時ごろの第1波。数秒の白波が河口を上る。その後、水が引いて来ない

波が飛ばして荒れ狂う波に驚いて逃げたが、黒い波にまわされた。

波が飛ばして荒れ狂う波に驚いて逃げたが、黒い波にまわされた。

波が飛ばして荒れ狂う波に驚いて逃げたが、黒い波にまわされた。

明日への一步

-32-

自分だけがいい思いをするな。亡き父の教えを忘れないことはない。

洋野町種市水産加工業かねと水産社長の新沼館務さん(63)は八戸市鮫町。所有する同市鮫町の加工場を宮城県南三陸町の水産加工業エキ吉田商店に貸し、共に復興への道を歩んでいる。

南三陸町で操業していた力

ネキ吉田商店は今回の震災で、四つの工場のうち三つが流失、残る一つも水を使えず、再開のめどは全く立たない状況だった。

3月11日。目

戸工場が被災。3月11日。目

座に支援を約束した。

3月11日。目

座に支援を約束した。

3月11日。目